

設立趣旨書

本は、私たちが様々な世界に誘ってくれます。新しい知識を与えてくれたり、好奇心を満たしてくれたり、書き手の苦悩や喜びを伝え心に感動を与えてくれたりします。そんな素晴らしい力が本にはあります。

ところが、現代社会では若者を中心に活字離れが進み、問題となっています。活字離れは、言語能力の低下につながり様々な影響を及ぼしています。自分の気持ちを表現する力、考える力、他人の意見を聞く力、思いやる力の成長を妨げるだけでなく想像力を減退させます。活字離れが進めば、日本語そのものの衰退も招きかねません。

しかしながら、読書をすることによって言語能力を向上させることができます。豊かな言葉は、想像力を膨らませるだけでなく、論理的に物事を考える力や、抽象的な思考を具体的な言葉で表現する力を成長させてくれます。人が本を読むということは、相手の言葉に耳を傾けその真意を理解する力や、自分の考えをまとめ適切な言葉で表現する力を育みます。また人生をより良く生きる知恵や力を与えてくれると考えます。

専門的知識を持つものが、それぞれの成長や感性に合った本や、発達段階に見合った本を薦めたり、本に関する適切な情報を提供することにより、本を読む楽しさ・大切さを効果的に知ってもらうことが出来ると考えます。また、読み聞かせや本の紹介（ブックトーク）などを行い、本との出会いの場を提供することで、やがては自ら選書し読むという読書習慣を身に付けることにつながります。

私たちは、一人でも多くの人がある人にとって「素晴らしい本」に出会えるようお手伝いをしたいと考えています。本を読むことを通じて、市民の皆様がより充実した豊かな生活、より良い人生を送ることが出来るよう貢献することが私たちの目標です。そして、将来的には図書館のサポートを行いながら、多くの市民の皆さんが足を運びたくなるような魅力ある図書館の運営にも携わっていきたいと思っています。

私たちは、このような活動をするにあたり、ミッションとして「本との出会いを提供し、本を通じて豊かに生きる力を育む」を掲げ、専門性を身に付けながら、公正且つ透明性の高い運営を行い、社会的信用を得て幅広くそして継続的に運営していく為に、特定非営利活動法人を設立するものです。

平成 19 年 9 月 10 日

特定非営利活動法人 ブックパートナー
理 事 長 牧原 孝二郎